

胆振総合振興局管内河川流域の減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	実施状況					R1取組内容	R2取組内容	取組に向けた課題	
					H29	H30	R1	R2	R3				
①円滑かつ迅速な避難のための取組	①-1 情報伝達、避難計画等に関する取組	① 洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミングの確認	胆振総合振興局、室蘭地方気象台、各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・避難勧告着目型水害対応タイムラインの試行運用を開始 ・洪水時に特化した危機管理型水位計設置に伴う河川水位情報の提供	・従前の水位情報に加え、簡易型河川監視カメラ設置に伴うリアルタイムのある洪水状況を画像として提供(川の防災情報)	
		② 避難勧告等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・地域防災計画に基づき情報伝達等を実施	同左	
		③ 水害危険性(浸水想定及び河川水位等の情報)の周知	胆振総合振興局	H29年度から実施	■	■	■	■	■	■	・最大規模の洪水に対する浸水想定区域図の作成 ・危機管理型水位計配置計画の検討・調整、順次整備 ・簡易型河川監視カメラの配置計画の検討・調整、順次整備	・簡易型河川監視カメラの配置計画箇所について、順次整備	
		④ 隣接市町村等への広域避難体制の構築	各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・隣接市町の避難場所について情報収集し、必要に応じ避難場所設定に向け検討	同左	
		⑤ 要配慮者利用施設における避難場所の確保・訓練に関する取組を促進	胆振総合振興局、室蘭地方気象台、各警察署、各市町、各消防本部	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・各施設の状況を確認し、避難場所等の確保、訓練等に関する取組を促進	同左	
	①-2 平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	① 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	胆振総合振興局	H29年度から実施	■	■	■	■	■	■	・最大規模の洪水に対する浸水想定区域図(水位周知河川)・洪水氾濫危険区域図(その他道管理河川)の作成、提供を完了	—	
		② ハザードマップの作成等、周知に係る取組	胆振総合振興局、各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の更新に基づいて、ハザードマップの作成等、周知に係る取組を実施	同左	
		③ まるごとまちごとハザードマップの促進	各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・まるごとまちごとハザードマップについて検討	同左	
		④ 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	胆振総合振興局、室蘭開発建設部、室蘭地方気象台、各警察署、各市町、各消防本部	継続実施	■	■	■	■	■	■	・講習会、研修、訓練の実施及び参加	同左	
		⑤ 防災教育の促進	胆振総合振興局、室蘭開発建設部、室蘭地方気象台、各警察署、各市町、各消防本部	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・教育素材(防災カルタやDoHUG等)を活用し、防災教育を支援及び実施	同左	
	①-3 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	① 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計(危機管理型)の整備	胆振総合振興局	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・協議会の場等を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、整備を完了	—	
		② 堤防天端の保護(越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策)	胆振総合振興局	継続実施	■	■	■	■	■	■	・安平川:引き続き堤防の天端保護(舗装)実施	・安平川:引き続き堤防の天端保護(舗装)実施 ・堤防の天端保護(舗装)対象箇所の検討	
		③ 防災資材備蓄施設の整備	胆振総合振興局	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	防災資材備蓄施設の検討	防災資材備蓄施設の整備(白老川)	
		④ 避難場所、避難経路の整備	各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	■	・浸水想定区域(想定最大)に基づく避難場所や避難経路を確認し、地域防災計画に反映	同左	
	②的確な水防活動のための取組	②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	① 重要水防箇所の確認	胆振総合振興局、各警察署、各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	・出水期前に重要水防箇所の確認を行う	・出水状況等を踏まえ必要に応じて重要水防箇所の見直し及び重要水防箇所を水防活動関係者と確認を行う ・出水期前に重要水防箇所の確認を行う	
② 水防資機材の充実、維持や関係機関との情報共有			胆振総合振興局、室蘭開発建設部、各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	・水防資機材等の保有状況の情報共有を図り、必要に応じた水防資機材の充実を図る	同左		
③ 関係機関と連携した水防訓練			胆振総合振興局、各警察署、各市町、各消防本部	継続実施	■	■	■	■	■	・水防訓練の実施、参加及び支援	同左		
④ 消防団員(=水防団員)の確保に向けた広報等			胆振総合振興局、各市町	継続実施	■	■	■	■	■	・リーフレットの配布やポスターの掲示	同左		
⑤ 水防団間での連携、協力に関する検討			苫小牧市	H30年度から実施	■	■	■	■	■	・水防団間における連携、協力体制の構築について検討	同左		
②-2 市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛防衛の推進に関する事項		① 市町村庁舎や災害拠点病院等への情報伝達や機能確保のための対策の検討	各市町	H30年度から実施	■	■	■	■	■	・浸水区域内の災害時拠点施設の情報伝達・機能確保のための対策について検討	同左		
③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組		③ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	胆振総合振興局、豊浦町、杜管町、伊達市、室蘭市、登別市、白老町	H30年度から実施	■	■	■	■	・必要な排水資機材の検討・整備を検討 ・排水活動に必要なスペース確保の有無を確認。	同左		
④河川の施設整備に関する取組		④ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策	① 河道掘削等の実施	胆振総合振興局	継続実施	■	■	■	■	・安平川、知利別川、気門別川、チマイベツ川、ブウベツ川、白老川、ウヨロ川、シャミセ川において、河道掘削、護岸整備等の河川改修を引き続き実施 ・適切な河道の維持管理を実施(河道掘削、伐木等)	同左		

■ ■ ■ ■ 上段:方針とりまとめ時の予定
 ————— 下段:着手状況